毎月第1日曜日発行

世界の動き身近な話題
中日新聞

さんぽみち 嶺北
かわら版さんぽみち編集局
〒918-8116 福井市大町2-206-1 福井広報センター内
TEL 0776-28-8619・FAX 0776-28-8602
Eメール osanpo@fukuikoho-c.co.jp

JUST meete ジャストみ～て！
日刊 県民福井 30年

日刊県民福井 阿部社長
ウェブみ～て！
日刊県民福井の深堀り動画公開中！
詳しくは
日刊県民福井販売店 で検索を
日刊 県民福井

さんぽみち

見上げてみよう 夏の星空 雨でも大丈夫★

福井駅から徒歩1分 ハピリン5階に広がる小さな宇宙

展示室の様子。天井にちりばめられた照明の効果で、まるで宇宙空間にいるような感覚に

福井市自然史博物館の分館として2016(平成28)年に福井駅西口のハピリン5階に開館。主に、宇宙や天文について学べる「展示室」と、プラネタリウムや映像作品が楽しめる「ドームシアター」からなる。「展示室」は福井、地球、太陽系、宇宙、文化の5つのコーナーに分かれ、パネル展示やスクリーン、照明や動力を施した仕掛けや映像などで解説する。「ドームシアター」は、デジタルプロジェクターで映し出されるリアル８Kの映像が国内屈指の美しさとされ、多くの天文ファンを引きつける人気スポット。その他、星や宇宙にちなんだワークショップや天文学者などを招いた講演会なども定期的に開催。広大で謎に満ちた宇宙の魅力を身近に、わかりやすく、楽しく伝えてくれる。同館広報の赤壁尚子さんは「雨でも暑い日でも、涼みながら満天の星が見られます。夏休みはたくさんのプログラムやイベントを開催するので、ぜひ来てください！」と話してくれた。

ドームシアターの様子。アニメや企業キャラクターとコラボした映像作品のほか、福井の星空を解説するプログラムを投映する

現在投映中のドームシアタープログラム
「リラックマのプラネタリウム」
お子様にお薦め

サンエックスの人気キャラクター「リラックマ」がドームスクリーンに登場。リラックマと一緒に「だららん」と星の世界へ出発しよう。
日時：8/27(日)までの土曜・日曜・祝日、
　　　夏休み期間は毎日
　　　午前11時30分～
※8/2(水)～8/20(日)は午後2時30分からも投映

さらに！
7月22日(土)からは展示室でリラックマと宇宙について学べる特別展「宇宙でだららん」も開催。

©SAN-X Co.,LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

現在開催中のワークショップ
「ストローロケット2号」

毎回人気のワークショップの中でも特に人気の「ストローロケット」

スーパーボールの跳ねる力を使った、小さなロケットを作るよ
日時：8月27日(日)までの
　　　土曜・日曜・祝日
　　　午後1時50分～
所要時間：20分程度
材料費：100円　定員：各日6人
※事前申込制
　電話(0776-43-1622)又は来館時に受付(空きがあれば当日受付可)

利用料金

	常設展(1日)	ドームシアター(1回)	セット券(常設展+シアター)
3歳以上高校生以下	無料	310円	ー
一般	410円	620円	820円
70歳以上	無料	620円	ー

3歳未満のお子さまと、障がい者手帳をお持ちの方は提示で無料になります

福井市自然史博物館分館 セーレンプラネット
住 福井市中央1-2-1ハピリン5階　問 0776-43-1622
開 平日・日曜・祝日：午前9時30分～午後5時30分
　土曜・祝日の前日：午前9時30分～午後8時
休 火曜・第2水曜日(祝日の場合開館)、祝日の翌平日、年末年始
YouTube ホームページで情報発信中

南越前町河野地区で満天の星を満喫しよう

開館当初からある口径200ミリの屈折赤道儀式天体望遠鏡。屋根はドーム式で天体観測時には開くようになっている

晴れた日が多く、冬は雪の少ない旧河野村に1991(平成3)年開館した「河野天文学習館」。中にはプラネタリウム室と大きな天体望遠鏡を据えた観測室があり、地域住民のみならず、県の天文学習振興の一翼を担っている。現在は主に県内で活動する天文サークル「ハツ杉天体観測所」のメンバーが、その時期に観測できる星空の「観望会」を開催。年間を通し月1回程度開催され、同クラブのメンバーが星空を詳しく解説してくれる。雨天時は、1階のプラネタリウム室で春夏秋冬、その季節に応じたプラネタリウムプログラムを上映する。このシーズン、昼は河野海水浴場で海水浴を楽しみ、夜は民宿などで海鮮に舌鼓を打った後、満天の星を満喫してはいかが？

こちらも開館当初から親しまれているプラネタリウム室。こぢんまりとした造りで、じっくり星の世界に浸ることができそう

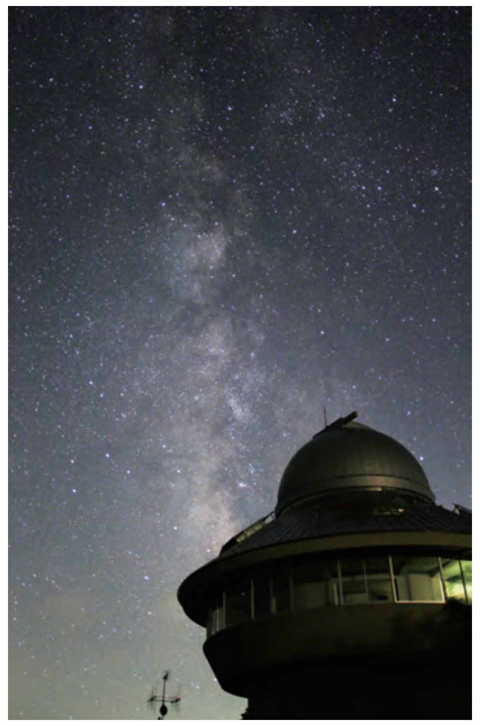
☆観望会スケジュール☆

	日にちと曜日	時　間	学習テーマ
1	7月22日(土)	午後7時30分～9時	球状星団M13をみよう
2	8月13日(日)	午後7時30分～10時	ペルセウス座流星群をみよう
3	8月26日(土)	午後7時30分～9時	月面クレーターをみよう
4	9月23日(土)	午後7時30分～9時	月と土星をみよう
5	10月21日(土)	午後7時30分～9時	土星とオリオン座流星群をみよう
6	11月18日(土)	午後7時30分～9時	天王星としし座流星群をみよう
7	12月2日(土)	午後7時30分～9時	アンドロメダ大星雲をみよう

※参加費無料で誰でも参加できる。その他各種団体行事依頼にも対応(問い合わせは南越前町教育員会まで)

河野天文学習館 観望会
住 南越前町今泉21-17
問 0778-47-8005
　(南越前町教育委員会)
駐 あり

手を伸ばせば届きそう “日本一美しい星空”を堪能できるスポット



大野市南六呂師にある体験学習施設の福井県自然保護センター。「身近な自然から宇宙まで」をテーマに、自然保護の普及活動を行っている。展示施設、天文施設、観察フィールドを備えていて、人と自然の関係を考える場を提供している。冬場にオープンする“野鳥のレストラン”があることでも有名だ。

観察棟には北陸最大級の口径800ミリの天体望遠鏡があり、週末には天体観望会が開催されている。ドーム径6.5メートル、座席数44席のプラネタリウムは、土曜・日曜・祝日に一般投影を行い、星にちなんだ物語と季節の星座のお話を、職員のライブ解説を交えて行う。こぢんまりとした規模ながら、知識の豊富な解説員が直接語りかけ、質問に答えてくれることで、星空の魅力がダイレクトに伝わる。

大野市の“光害”が少ない澄んだ星空は、環境省が実施した全国星空継続観察で2年連続「日本一美しい星空」に選ばれている(2004年大矢戸区、2005年南六呂師区)。大野市では、この美しい星空を守り続けるため、同センターのある南六呂師区を星空の世界遺産とも呼ばれる「星空保護区」に申請中だ。

☆天文プログラム(予約不要、参加無料。平日は団体のみ受付)☆

◆プラネタリウム
毎週土曜・日曜・祝日　午前10時～、午前11時～、午後1時30分～、午後2時30分～(所要時間40分程度)

月	季節	午　前	午　後
4・5	春	北斗七星の話	ぶたにばけた七つ星
6	春	北斗七星の話	ぶたにばけた七つ星
6	夏	天の川と七夕の話(6月中旬～7月上旬)	哀しきオルフェウス
7・8	夏	天の川と七夕の話(6月中旬～7月上旬) 豪傑ヘルクレスの話(7月中旬～9月上旬)	哀しきオルフェウス
9	夏	豪傑ヘルクレスの話(7月中旬～9月上旬)	哀しきオルフェウス
9	秋	アンドロメダとカシオペアの話	ペルセウスの冒険
10・11	秋	アンドロメダとカシオペアの話	ペルセウスの冒険
12・3	冬	ふたご座の話	天の狩人オリオン

◆週末天体観望会　4月～9月　午後7時30分～9時30分
　(毎週土曜日)　10月～3月　午後7時～9時
◆昼の天体観望会　3月～12月(1・2月は休止)
　(毎週土曜・日曜・祝日) 午後3時15分～4時(プラネタリウムプログラム終了後)

高原の美しい景観やのどかな棚田の風景の先に県自然保護センターはある。後方に見えるのが観察棟

福井県自然保護センター
住 大野市南六呂師169-11-2
問 0779-67-1655　開 午前9時～午後5時
休 月曜日。夏休み期間中(7/21～8/31)は無休
料 無料
ホームページで情報発信中
※観察棟は天文プログラムがある場合のみ開館(団体予約を除く)

星空は最高の癒やし
天文愛好家　大野市　橋本 恒夫さん

「一日の仕事を終えて星空を見上げるひとときは、星や宇宙に癒やされるアストロテラピーそのもの」と話すのは、大野市下据(しもしがらみ)で里芋などを生産している専業農家の橋本恒夫さん(51)。地元天文愛好家で作る「オヤット天文クラブ」の会長や星のまちおおの推進協議会会長を務める。大野市役所前で開かれる「星のまち鑑賞会」や、県自然保護センターで毎週末開かれている「週末天体観望会」など、星空に関する様々なイベントで愛好家の裾野を広げようと日々奮闘している。

橋本さんが星に興味を持ったのは幼稚園の頃。福井市の運動公園にあったプラネタリウムに出かけた後、「プラネタリウム」や「オリオン座」を大人たちにうまく説明できず悔やしかったのを覚えているという。近所の橋の上で姉と夜空を見上げ、流れ星を数えた小学生時代を経て、現在の土台が出来上がったのは大野高校の地学部時代。星座を覚え、星空の見方の基礎が身に付いたそうだ。

依頼を受けたイベントや講演会では、自身が撮影した写真やデータを駆使して「興味が途切れないように、面白くわかりやすく見せること」を心がけているという。皆既日食や流星雨、1997(平成9)年のヘールホップ彗星など数々の印象的な事象に出合ってきたが、同じ状況が訪れるのは、数十年～数万年の先のことが多い。体験できない話を聞かせるより、「星を見せてあげる」ことが大切という思いからだ。

星空の写真には星空だけを撮影した「星野写真」、風景と星空を合わせて撮影した「星景写真」などがあるが、橋本さんは時間をかけて星を追跡し、粒子の粗い写真を何枚も重ねることで鮮明にした「天体写真」を好み、天体の対象別に大小さまざまな望遠鏡を使い分ける。妻の京子さんは「人が喜んでくれる趣味なんだから良いんじゃない」と、必要な時にはサポートしてくれるそうだ。

「気候的にも屋外で夜空を見上げやすい夏は、イベントも多くなり、星空好きには良い季節」と言う橋本さんは「星好きが至る所で集まって気軽に星空を見上げるような大野が理想」と話し「そんな大野に行ってみたい、住んでみたいと思えるような活動を続けたい」と笑顔を輝かせた。

デジタル制御の天体望遠鏡と橋本さん。トラクターやコンバインが収納された農作業用の納屋が趣味の基地でもある

で情報発信中

気になるお菓子屋さん
繊細で華やかな和スイーツ あんこのお花®
CHARLIE MARGUERITE（チャーリー・マーガレット）

フラワーボックス例

サブレサンドケーキ

ナンバーケーキ例。土台にはサブレとチーズクリームを挟んでいる

おはぎプリンセス®

父の日をイメージしたフラワーボックス

お茶会で作ったお菓子例。持ち帰られるよう、お土産も付く。次回のお茶会は7月31日(月)午前10時～午後1時

「口に入れて食べてしまうなんて、もったいなくて…」という声が聞こえてきそうな美しい和スイーツ「あんこのお花®」は、新しい感覚の和菓子。抹茶やビーツ、紫芋など自然由来の成分で色付けた白あんを、数種類の口金を使い分けて、一つ一つ丁寧に本物の花のように絞り出す。上品なこしあんの甘さと繊細で華やかな姿が魅力。土台となる部分はおはぎだったり、サブレ生地だったり、団子だったりとさまざまだ。母の日、父の日など季節のイベントに合わせたものや誕生日のプレゼント用として注文が寄せられているそうだ。価格は4寸サイズのフラワーボックスで3,850円から。

作っているのは、鯖江市の山田ちありさん(37)。昨年11月、全国的に人気に火が付き始めていたあんこのお花®教室を北陸で初めて鯖江市に開き、同時にオーダー販売も開始した。8歳と3歳の子どものママでもある山田さんは、資格取得後も技術を磨くため、毎晩子どもを寝かしつけた後に練習に励んだ努力家だ。

単発の教室のほか、資格取得を目指す人のためのコースもある。山田さんはあんこのお花®の魅力を広く知ってもらいたいと、月に1度のペースで「お茶会」という名の体験会を開催している。定員5人で参加費は1,000円。自分で作る楽しさを気軽に味わえると人気だ。

プレゼント

教室や体験会などの告知、予約の受け付けはすべてインスタグラムで。

山田ちありさん

あんこのお花®教室上級認定校 CHARLIE MARGUERITE
(チャーリー・マーガレット)
住 鯖江市日の出町2-1-109　2F
Eメール chi.daffy.308@gmail.com
で情報発信中

@CHARLIE.MARGUERITE

笑顔満天

5月1日に地元の「篠座神社」で孫の百日祝いの神事。両家でお祝いをしました。五月晴れの良い日でした。
上田光昭さん　大野市

孫の「とくま」5カ月になりました。寝返りが得意です。この笑顔、最高の笑顔です。疲れも吹っ飛びます。成長がとても楽しみです。
松田智慧美さん　福井市

仕事が忙しかったあの頃、子ども2人との週末が1番の癒やしでした。そんな2人も今では大学生です。石川動物園での1番お気に入りの笑顔写真です。
すーそーさん　坂井市

蒸し暑い梅雨も吹っ飛ばす、笑顔良しの仕事仲間。令和、平成、昭和の時代の三人娘でーす。
岩堀さん　福井市

笑顔で明るく楽しく、ためになる作品を投稿している80代ユーチューバー三人組です。『おたみずチャンネル』見てくださいね！
後藤信義さん　越前町

※価格はすべて税込み。

※プレゼントの応募方法は中面をご覧ください。

さんぽみちは皆さまの声でできています。「気になるお店」や「取材してほしい人」など、最寄りの販売店または さんぽみち編集局へ！